

2月7日から、礎石保護工事(耐圧盤工事)が始まりました

耐圧盤とは？

建設計画では、万が一建物の重量で、礎石が沈下する動きが起こった場合には鉄骨柱で建物を支える計画です。

耐圧盤はその鉄骨柱を設置するための鉄筋コンクリート基礎です。

これで万が一、礎石が下がる様な事があっても大丈夫です。

(礎石が下がる様な事は無いとは思いますが・・・)



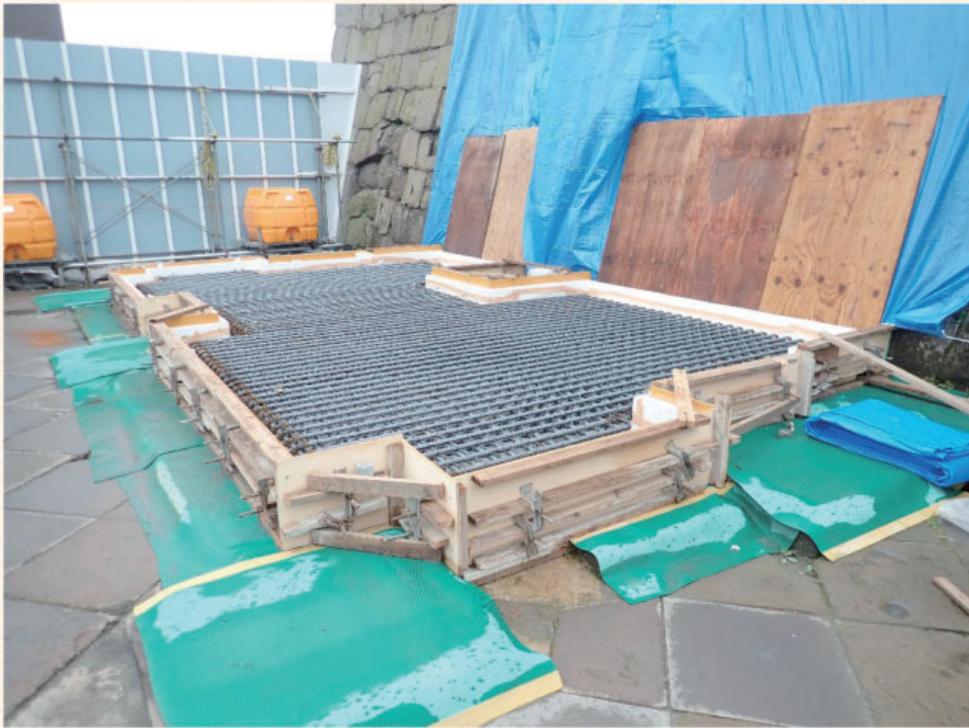
土間を保護するために、ゴムマットを敷き込みます。



敷いたマットの上に養生砂を敷き詰め、突き固めます。
周囲の礎石や石垣にコンクリートが直に触れない様、発砲スチロールでしっかりと保護します。



養生砂を突き固めたら下から湿気が上がって来ない様に、又コンクリートが型枠の隙間から流れだして礎石を汚さない様に、防湿シートを敷き込みます。



鉄筋組の開始です。
細かいピッチで組んで行きます。
鉄筋がきれいに並んでおります。



いよいよコンクリート打ちです。



養生後、型枠を外すと、鉄筋コンクリートの耐圧盤が完成しました。